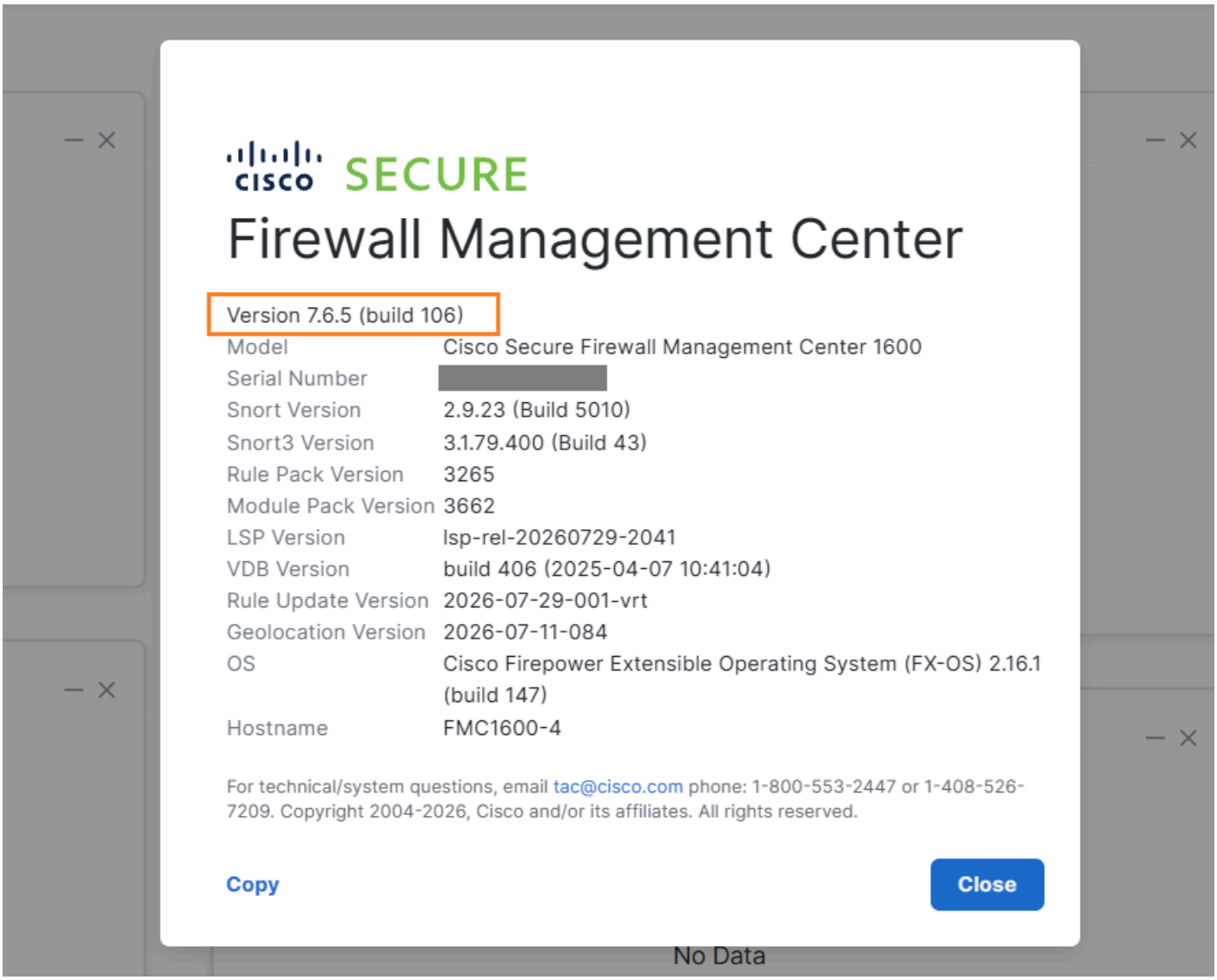
UIバージョンが変更されない場合のFMCホットフィックスのインストールステータスの確認

内容

お問い合わせ内容

バージョン7.6.5-106を実行しているFirewall Management Center(FMC)に、ホットフィックスCY(Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Hotfix_CY-7.6.5.1-2.sh.REL.tar)が正常にインストールされた後、ユーザインターフェイス(UI)に表示されるバージョン番号と、show versionコマンド出力には、ホットフィックスバージョンではなく、7.6.5-106と表示されます。インストールはエラーなしで完了しましたが、ホットフィックスのインストールを反映するためにバージョン番号を変更する必要があるかどうかについては不明です。



<#root>

>

show version

```
------------------[ FMC1600-4 ]---------------------
Model                     : Cisco Secure Firewall Management Center 1600 (66)
```

Version 7.6.5 (Build 106)

```
UUID                      : 12345678-1234-1234-1234-1234567890
Rules update version      : 2026-07-29-001-vrt
LSP version               : lsp-rel-20260729-2041
VDB version               : 406
----------------------------------------------------
```

環境

FMCバージョン7.6.5-106他のソフトウェアバージョンも影響を受ける可能性があります。

解決策

これは、FMC（およびFTD）ホットフィックスのインストールで想定される動作です。ホットフィックス（たとえば、7.6.5ビルド106の上に7.6.5.1-2がインストールされているなど）をインストールした場合、UIおよびshow versionコマンドの出力に表示されるソフトウェアバージョンおよびビルドは、基本リリースバージョン(7.6.5-106)のままです。 ホットフィックスは個別に検証され、表示されるベースバージョン文字列は変更されません。

ホットフィックスのインストールの確認

ファイアウォールにホットフィックスがインストールされていることを確実に確認するには、次の手順に従ってFMC CLIからパッチ履歴を確認します。

1. エキスパートモードに入ります。

<#root>

>

expert

2. パッチ履歴を表示します。

<#root>

device:~$

```
cat /etc/sf/patch_history_detailed
```

```
[250424 08:16:59.099] Install 7.4.2-172
[260302 03:02:19.459] Upgrade 7.4.5-2
[260804 12:38:10:676] Upgrade 7.6.5-106
[260804 12:50:53:636]
```

```
Hotfix Hotfix_CY-2
```

その他の考慮事項

将来のアップグレードで「レディネスチェック」を使用する場合、パッチ履歴 (UIバージョン文字列ではない) からホットフィックスステータスが判別されるため、この動作は正常であり、アップグレードに影響を与えません。

原因

これは、FMCホットフィックスのインストール用に設計された動作です。パッチ履歴でホットフィックスのインストールを個別に追跡しながら、ベースソフトウェアバージョンの表示を維持します。

関連コンテンツ

- Cisco Secure Firewall Threat Defenseホットフィックスリリースノート
- シスコのテクニカルサポートとダウンロード
- Cisco Bug ID CSCwb10571

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。